

みなみまち協だより

第20号 令和3年3月15日
発行所：みなみまちづくり協議会
高山市岡本町1-18 南小学校内
Tel&Fax 34-0114
題 字：内木 能里子(八軒町2)

西町の一本松

もうすぐ二百歳になります

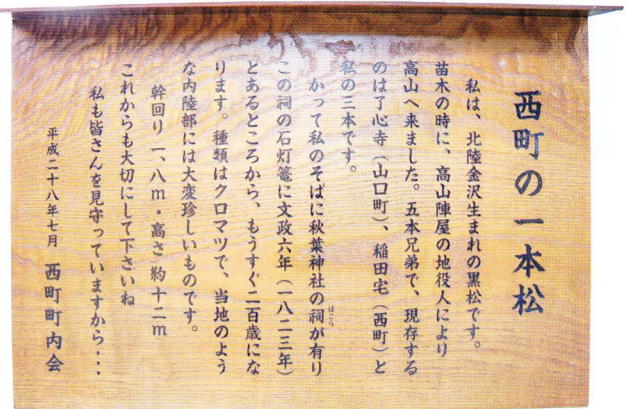
金沢から高山陣屋の地役人が黒松の苗木を5本運んできました。そのうち現在まで残っている3本の内、一つが西町にあります。

かつては、そばに秋葉神社の祠があり、その石灯笼に文政6年(1823年)と表記されています。樹齢約200年となります。

西町良翁会(長寿会)が年間を通じて、草取り清掃、雪囲いなど手入れをして大切にしています。



南地区の風景



雪の寒い朝でも、南小学校の通学路には黄色い旗を持って子ども達を見守っている大人達がいる。子ども達も元気に学校に入っていく。

「ホームステイ」で不要不急の外出は控えろと言われているが、通学など必要な外出はある。

閉じ込められて暗い毎日だから、何か明るい話を探せと言われる。しかし長引くコロナの広がりや世界を暗くし続け、観光高山の落ち込みも経済を冷や込ませている。

南小の近くには文化会館がある。コロナ予防指針に従い、消毒薬で手を殺菌し、マスクをして各種の展示や文化活動を楽しむことができる。さらに高山は少し郊外に出れば、野山や森で誰にも会わず、マスクを外してのびのびと動き回れる。きれいな空気の自然がいくらかもある。

朝の寒い通学で「オハヨウゴザイマス」と挨拶して行く子ども達を見ていると、思わず涙が出そうになる。どうかコロナに負けず、元気に育って学んでくれと祈りたくなる。

明るい話は少ないが、明日に向う子ども達には希望がある。ともかくともかく春が来る。時にはマスクを外して深呼吸してみよう。

(中林 利数)

桜

一年を振り返って

みなみまちづくり協議会会長 三枝 祥一

世界的猛威を振るう新型コロナウイルスが日本にも蔓延し、高山市も感染者が出ました。

五周年記念事業、敬老会、他地区のまちづくり協議会との交流会、その他中止となつてしまいました。

ただ、大きな目標としてお

りました防災に関しては、

竹腰委員長のもと防災委員会を立ち上げ、南小学校児童の防災教育、地区の皆様へのコロナ禍における避難所開設訓練等の活動ができた。一つの目標は達成できました。

令和三年度には、ワクチン

接種も始まり新型コロナウイルスにも打ち勝ち、みなみまちづくり協議会活動も活性化してまいりたいと思っております。

令和三年度をみなみまちづくり協議会飛躍の年にするためには、地区の皆様のご支援、ご協力が欠かせません。皆様一人ひとりの力をお貸しいただくことをお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

令和二年度事業について

地域づくり部

地域づくり部長
河合 博昭

今年度の町内活動補助事業につきましては、各町内会の

計画申請は例年通りでしたが、事業はことごとく中止せざるを得ず、最終的に実行報告額は極端に減少しました。

本年度の事業予算総額は百四十五万円で、各町内会の上限限度額は概ね各町内の世帯数比にて按分します。二十町内会の内、最小の十八世帯から最大の九百十八世帯まであ

ります。補助事業の対象は町内会活動で費用のおよそ二十%が支払われますが、酒代に類するものは対象外となります。

部長になって三年たちますが、各町内会で活動熱に大きな温度差があることを感じています。やはり各町内会の構成年齢層の差がそのまま反映されていると思います。折角補助事業がある訳ですので、利用する努力を是非お願いしたいと思います。

もう一つの補助事業であ



る、各町内会の外灯電気料補助について、本年度までは年間推定使用電気料の九十%を各町内会へ支払いをしてきました。

来年度からはみなみまちづくり協議会の口座からの引落処理によって百%補助することとなりました。現在そのため事務手続きを実行中です。

防災委員会

今年度の防災活動について

防災委員長 竹腰 幸夫

みなみまち協の地域づくり部に、「防災委員長」のポストができてから三年目となりました。

これまで防災講演・講座等を行ってきましたが、それらが実際の防災行動までに結びつかず災害時の対応ができていないのが現状でした。

そこで、災害に対応ができる体制作りのため防災委員会を立上げる事と

しました。事前に、まち協の運営委員会に防災委員会発足に向け提案、七月十五日に構成メンバー三十六名（委員会役員・各町内自主防災代表・まち協役員・地域防災士）にて承認。

コロナ禍で防災活動も制限されていますが、

①防災委員会として新型コロナウイルス感染症を踏まえた避難所開設・運営研修を早期に行う必要から市の危機管理課へ依頼・実施しました。

②被災体験の講演（末永賢治氏）と避難所開設の実践演習を防災委員会の実務経験者により実施しました。

いづれも、防災委員会のメンバーを主に防災活動を行いました。今後一般の方に参加をいただく予定です。



受付での事前検温
(避難所開設の実践演習)

社会教育部

今年度の活動について

社会教育部長

遠藤 伸子

いつも社会教育部の事業に関心を持っていただき、ありがとうございます。新型コロナウイルスの影響で、当初予定していた行事の多くが中止となりましたが、開催できた行事には皆さんの申込をいただき感謝しています。

講座の中で飲食を伴うもの、密になりやすいものは中止しました。感染防止対策を取って開催できた講座もありました。

かごバッグ講座やプリザーブドフラワー講座では親子で楽しく作品づくりする姿にひととき笑顔になりました。

不安な日々が続きますが、参加して下さいました皆様には改めてお礼を申し上げます。

今後も皆さまに楽しんでもらえる講座を開催していきます。

ありがとうございます。

講座一覧表

月日	事業名	参加人数
7月19日	クラフトテープかごバッグ講座	16名
9月13日	プリザーブドフラワー講座	24名
8月	パソコン小技教室	20名
10月	あんしん・あんぜん講座	91名
11月8日	グラウンドゴルフ大会	39名
2月7日	みなみボウリング大会	45名

福祉部

今年度の活動を振り返って

福祉部長

塚田 さち子

《敬老会》

南地区敬老会を九月二十一日に予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症が全国的に広まり、止む無く中止といたしました。来年度は開催できる事を望みます。

《一円玉募金》

今年度も各町内会で集め

ていただいた一円玉募金は総額一三九、七七円となりました。ご協力ありがとうございました。

《古布回収》

各町内会から集めていただいた古布は、裁断して新品タオルなどと一緒に市内七ヶ所の施設に寄付させていただきました。尚、ペットボトルキャップについては、今年度より回収を中止しております。

青少年部

今年度の活動について

青少年部長

田中 育宏

今年度は新型コロナウイルスが流行し始め、学校が休校している中ででのスタートとなりました。子どもたちの安全を第一に考え、活動できるのかを模索しながら進めていかなければならない一年間でした。

前期の土曜教室は、休校になっていたこともあり、募集をかけることが難しい状況で中止としました。日帰りバスハイクは不要不急の外出を控えている中で、夏休みの思い出として何とか開催できないかと思っておりましたが、修学旅行が延期となりましたのでバスの

使用は控えた方が良いと判断させていただきました。

後期は土曜教室を開催し、何とか活動させていたいただきましたが、子ども達にとっては寂しい一年だったのではないかと思います。

私自身としても今年度が任期四年目で最終年でした。その中で思っていた活動ができなかったことは非常に残念でした。青少年部としては子ども達の楽しい時間を作り出すことが使命だと思っております。今後とも皆様の御協力をお願いします。四年間ありがとうございました。



お菓子づくり(土曜教室)

みなみまち協よりお知らせ

来年度役員を選任について

みなみまちづくり協議会規約(以下規約と略す)第8条の規定により、以下のように選考委員を選出し、令和3年1月に選考委員会を開催しました。

選考委員

協議会役員から2名：河合 博昭、田中 育宏
協議会理事から3名：蒲 敏夫、丸谷 和俊、牛丸 英夫

選考結果

令和3年度会長として 三枝 祥一 を選考しました。

定期総会開催のお知らせ

日時 令和3年4月27日(火) 午後7時～ 会場 南小学校・体育館

議案

令和2年度 事業報告・令和2年度 決算報告
令和3年度 役員改選・令和3年度 事業計画・令和3年度 予算案、規約改正など

みなみまちづくり協議会規約第12条第2項により公開、また同第13条第1項により構成員は運営委員、理事、部会員となっております。

みなみまちづくり協議会の定期総会は一般に公開しております。皆様お誘いあわせの上ご参加ください。

尚、新型コロナウイルス感染症の状況によっては、書面決議で執り行う可能性もありますので、ご了承ください。

五周年記念事業

日程 令和3年10月24日(日) 場所 高山市民文化会館・大ホール

新型コロナウイルス感染症の状況によって、開催の変更がある場合があります。

みなみまち協 LINE公式アカウント

- 講座や教室の募集がチラシより早く来ます。
- 時折、賞品が当たる抽選クーポンが配布されます。
- 問い合わせがLINEでできます。

LINE



右のQRコードを読んでお友だち登録してください。

あなたのとおき写真で
応募してください。

南地区素敵な写真発掘隊

フォトコンテスト

LINE応募は
こちらへ

応募期間 令和3年4月1日(木)～6月30日(水)

応募〆切 6月30日(水)午後5時事務局必着

参加賞や豪華商品を準備して待っています。



募集要項

南地区で3年以内に撮影した未発表の写真。風景・スナップなど何でもOK。
1人3点まで応募可。スマホ撮影でもOK。南地区以外の方も、撮影場所が南地区ならOK。
SNSなどに投稿済みの写真は発表済みとみなしますので応募できません。

応募方法

- 提出方法** データで応募。ファイル形式：JPEG ファイル 5MB 以下
- LINE提出** 左上のQRを読み、メッセージに**必要事項**を記入し、写真を添付。
- メール提出** minami-machikyouto@hidatakayama.ne.jp
本文に**必要事項**を記入し、写真を添付。
- USBメモリ等** 返却先住所を記入した封筒と応募票を同封し、事務局へ郵送するか持参。
- 必要事項** 氏名・住所・年齢(学年)・職業・携帯番号・写真タイトル・撮影場所・簡単な写真の説明

用途

応募作品は広報誌、ホームページ・ブログ・LINE等や、みなみまち協発行のチラシなどに使用します。

表彰

応募者全員に参加賞。5周年記念事業(10/24)で表彰。
みなみまち協会会長賞1点、最優秀賞1点、優秀賞 数点(賞品は最高額2万円相当)

注意事項

- 被写体の肖像権侵害などの責任は負いかねますので、必ず被写体ご本人の承諾および応募への使用許可を得てください。
- 合成など著しい加工を施した写真や撮影会等の演出された写真はご遠慮ください。
- 応募作品は、著作権など権利のすべてが応募時点で応募者に帰属するものに限りです。
- 応募作品の著作権は応募者にありますが、使用权はみなみまちづくり協議会(以下みなみまち協と略します)が有します。
- SNS・ブログなどWEB掲載に使用した写真は応募できません。
- 応募作品に関し、第三者から権利侵害等の苦情や異議申し立てがあっても、みなみまち協は一切の責任を負いません。
- 応募の時点で、募集要項に同意したものとみなします。

人材 リスト

みなみまち協



登録のお願い

みなみまちづくり協議会(以下みなみまち協と略す)の企画運営への協力や、災害発生時に援助できる方を人材リスト登録していただき、活用させていただきます。

あなたの趣味・特技・資格を 地域に役立てていただけませんか！

募集範囲

1. 資格を活かして活動補助や指導ができる方。

運転免許関係・防災関係・医療関係・教育関係・看護関係・調理関係・保育関係 他

2. 特技・趣味で教室・講座を企画・運営・指導・補助できる方。

DIY・写真・ドローン・自転車・バイク・ゲーム・パソコン・SNS・インスタ・TikTok・あつ森・キャンプ・料理・スマートフォン・登山トレッキング・化粧・コスプレ・グルメ・漫画イラスト・書道・スポーツ・外国語会話・手話・占い・クイズ・激辛・大食い・ハーブ・家庭菜園・ガーデニング・酒・釣り・家電・車・アマチュア無線・ボランティア・エクササイズ・その他

登録方法

左ページの登録カードに必要事項を記入し、みなみまち協まで郵送または持参してください。個人情報扱いますので、Faxでは送信しないでください。(送信ミスが怖いので) LINEでご連絡いただければ登録カードと返信用封筒を郵送しますので、記入後返送願います。

協力・援助範囲

◎災害時

- 避難所の開設や運営に協力援助。 ●避難所運営スタッフや補助員として避難所運営に協力。
- 災害状況の情報収集や関係機関との連絡等。

◎通常時

- 新しい企画のアイデアの提案、その企画実現の補助協力。
- みなみまち協主催の講座や教室の講師や補助員。まち協主催行事の設営・運営のスタッフ。
- 各町内会での講座やワークショップなどへの講師・補助員や運営スタッフの派遣。

☆登録カードで得た個人情報はみなみまちづくり協議会事業以外には使用しません。

☆ご本人の同意が無ければ第三者に個人情報を提供することはありません。

☆取得した個人情報は管理責任者を定めて紛失や漏洩などが発生しないよう積極的な安全対策を実施します。

みなみまち協 フォトコンテスト 応募票

フリガナ			
題名			
撮影場所			
コメント			
出品者	住所		
	氏名		
	年齢	歳(学年 小・中)	職業
	携帯電話		

みなみまちづくり協議会

人材リスト登録カード

整理番号	
フリガナ	
氏名	
住所	
携帯電話	
生年月日(西暦)	
資格	
特技・趣味	

みなみまちづくり協議会

お問い合わせ・郵送先 **みなみまちづくり協議会 (事務局)**

TEL 0577 **34-0114** (FAX兼用) 〒506-0054 高山市岡本町1-18 南小学校内

LINE





ストライクやスペアーを取るといろいろな賞品がもらえます。

来年は参加してね!

みなみ

ボウリング大会

令和3年2月7日(日)13:30スタート

編集 後記

一月末で応募を締め切りました「シンボルマーク&マスコットキャラクター募集」には百七十人の方から、シンボルマーク百四十五作品、マスコットキャラクター百五十作品の応募をいただきました。予想を上回る応募数で感謝しております。今後選考会で、それぞれ一作品ずつ採用作品を決めていきます。十月の「五周年記念事業」で表彰式が出来る事を祈っています。ありがとうございました。

文芸 南俳句

みなみ

葉月会

神さまにすこし嘘つく花青木
音の無き雨に籠りて二月尽
逆しまに映る鏡や春寒し
春寒やマニキュアほんのり紅色に
初景色山に向かひて問ひたきこと
古民家の板敷光る土雛
忘れ雪触れて心音浄めけり
駆ける子の運動靴に春の土
ランドセル仏間に飾り春待つ子
叱られて祖母の隣に春炬燵

安藤 桂
上田真穂子
栗田美由紀
小林 高子
紺谷健次郎
瀬川 章子
玉田 信哉
保木 信子
益田美貴子
米澤 智子

私事ですが、広報部長を務めて四年(最終年)となりました。みなみまち協だよりを十三回作ってきました。広報部員の方やアドプリンター印刷の奥田さん、まち協事務局や運営委員の皆さんに助けていただいたおかげでできた広報誌です。ありがとうございました。

今後は、まち協事務員として広報誌に関わっていきますので今後ともよろしく願います。

(神田)